



観光・産業の新たな挑戦

奈良市が描く未来へ向けて

奈良市観光経済部

部長 松本賀史

平素は、奈良市政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は本年4月、奈良市観光経済部長に就任いたしました。地域経済を支える事業者の皆様とともに、奈良市のさらなる発展に全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

現在、本市では未来を見据えた新たなプロジェクトが着実に動き出しております。

第一に、令和9年7月より奈良国立博物館において開催予定の「奈良・サマルカンド特別交流展」です。本市は令和4年10月、シルクロードを通じた深い縁を持つウズベキスタン共和国・サマルカンド市と姉妹都市提携を締結いたしました。その5周年を記念し、両市と奈良国立博物館が連携して、ウズベキスタンの国宝級文物を一堂に集めた特別展を開催いたします。富雄丸山古墳出土の「虺龍（きりゅう）文鏡」と、サマルカンド州コクテパ墳墓出土の同種の鏡の並列展示など、シルクロードを介した文明の結びつきを体感いただける内容です。本展で公開されるウズベキスタンの至宝は、すでにルーブル美術館（パリ）や大英博物館（ロンドン）においても展示され、高い評価を受けた作品群です。これらが日本で初めて奈良の地に集う歴史的な機会を通じ、奈良が持つ「時代と国境を越えた多様性」を世界へ発信してまいります。

次に、道の駅「針テラス」の再整備です。西日本最大級の規模を誇る同施設は、本年5月にイオンモール株式会社を再整備事業者として選定いたしました。令和9年度からのリニューアル工事を経て、令和11年度の全面供用開始を目指しております。奈良市東部エリアの農産物魅力発信や、広域観光拠点として再生させてまいります。

また、東部地域を中心に1200年以上の歴史を誇る「大和茶」の振興にも注力しております。高冷地特有の寒暖差が育む大和茶は、香り高く滋味深い味わいで知られています。昨今の抹茶ブームを背景に原料「てん茶」の需要が急増しており、栽培拡大の支援や販路マッチングを強化することで、農業所得の向上と持続可能な地域農業の確立を目指します。

さらに、企業誘致・創業支援についても着実な成果を上げています。大阪・京都から約35分という利便性に加え、リニア中央新幹線の「奈良市附近」への設置は国の整備計画に明記されており、今後さらなる優位性が期待されます。サテライトオフィス開設への最大600万円の補助制度や企業立地コンシェルジュによるワンストップ支援など、挑戦する企業を支える体制を整えております。市内事業者の皆様の実業拡大や第二創業への支援も、より一層拡充してまいります。

悠久の歴史と文化、豊かな自然に恵まれた奈良市の可能性は無限です。皆様の温かいご支援とご協力を、心よりお願い申し上げます。